

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	121	俳句啓発	01	01	一般会計
基本施策	35	文化芸術により豊かな感性と創造性を育む	02	02	総務費
			01	01	総務管理費
			08	08	芭蕉顕彰費
担当部課名		企画振興部 文化国際課	103	103	俳句啓発推進経費
作成者氏名	松本博臣	連絡先	22-9624	01	俳句啓発推進経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
	俳句関連事業に参加した市民	子どもからおとしよりまで幅広い年齢層において市民が俳句に親しむ機会が多くなり俳句への理解を深め普及が進む				
本年内容	芭蕉翁生誕地として、その文化功績を称え、市民の間に俳句がよりいっそう浸透するよう俳句の日等を開催するなど市民を対象に俳句関連事業に取り組む 事業・夏休み俳句教室(俳句の日8月19日) 事業・歌枕俳枕講座 内容・芭蕉俳句懸垂幕掲示(季節ごと)					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	1,320	1,058	1,058
	報償費	153	532	532
	その他	1,167	526	526
	合計(A+B)	2,040	1,778	1,778
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	受益者負担	0	0	0
	その他特財	1,100	1,000	1,000
一般財源	940	778	778	
上記①～③に関する特記事項				
②報償費、旅費、需用費、使用料及び賃借料③芭蕉翁顕彰事業基金				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
夏休み俳句講座	回	1	1	1			
歌枕俳枕講座	回	1	1	1			
芭蕉俳句懸垂幕掲示	回	4	4	4			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
献詠俳句投句数(一般)	投句数の増が俳句の浸透を表す指標となる。	句	15834 目標 (15000)	16467	17100
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

俳句に馴染む子供たちを通じて俳句にかかわる年代層の拡大を図っていくために実施している。予算が限られているため参加者増に向けて工夫がある。
--

評価	必要性	4	俳句教室への参加は、毎年人気があり、申し込み開始日等で満員のため締め切りとなっている	総合評価
	有効性	3		A
	達成度	3		
	効率性	3		